

膝関節内側側副靭帯損傷

膝関節の靭帯は4本あり、膝の前後左右に対する支持を行っています。その1つである内側靭帯は、膝の内側を支えている厚く、幅の広い靭帯で、膝が外側に反らないように防ぐ作用があります。

損傷の原因としては、主に膝の過度な外反が作用したときに発症します。さらに、回旋運動が加わると前十字靭帯損傷や半月板損傷を合併し、重度となるケースもあります。具体的には、サッカー・スキー・野球・バスケットなどに多く、アメフトやラグビーなどのコンタクトスポーツでは、膝の外側からタックルされた時に、この靭帯が切れてしまいます。

損傷の程度は、第Ⅰ度・第Ⅱ度・第Ⅲ度に分類されます。

第Ⅰ度損傷は、動揺を生じない程度の靭帯損傷です。

第Ⅱ度損傷は、軽度の動揺性が生じる部分損傷です。

第Ⅲ度損傷は、靭帯が完全に断裂し半月板損傷などを合併するケースもあります。

治療方法は、第Ⅰ度損傷はサポーターや弾力包帯で局所の安静を保ちます。第Ⅱ度・Ⅲ度損傷ではギブス固定を約1週間程度行い、その後はサポーターや装具を装着しリハビリを開始します。

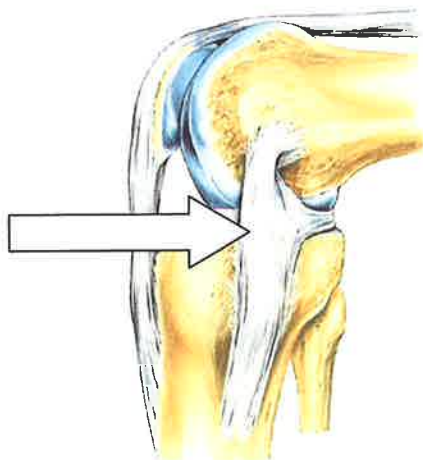
また、受傷より時間のたった陳旧例に対しては、不安定性の程度により筋肉のトレーニングや装具療法を行います。

スポーツや運動の際、サポーターやテーピングで患部を保護していただきます。

何か不明な点がありましたら、お気軽にスタッフに相談ください。

古東整形外科

内側側副靭帯



装具による固定